

# アドセンス最適化マニュアル

アドセンスは、現在、最強のアフィリエイトプログラムです。アフィリエイトをしたことがある方でしたら誰もが一度は経験があると思いますが、通常のアフィリエイトでは

面倒な広告の張替え、リンクの張替え、

たとえ成果が発生しても却下される危険性が大

ECサイトが成果に不正を働いても追求する手段がない

成果がなかなか承認されない(ひどければ半年くらいほったらかしということも)

匿名でサイト運営してもなかなか売れない

売り上げを伸ばすにはメールマガジンの発行が必要・・・

など、いろいろと面倒だったり不透明な部分がありました。

特に、発生した成果がほとんど却下される、なんていう事態になると本当にやる気がそげます。

かといって、確実に成果がとれるクリック報酬は、まさに雀の涙・・・1クリック1円、2円の世界では話になりません。

私も、アドセンスを始める前までは、「クリック報酬？そんなんで稼げるわけないだろ？」と思っていました。

しかし・・・、です。

アドセンスを導入後、このクリック報酬プログラムの成果は、伸び止まるということを知りません。

クリック率が3%を超える

1クリックあたりの単価は50円を超えることもある

発生した成果はほぼ確実に承認される

広告の張替え不要

メールマガジン発行不要

翌月にはすばやく現金化ができる

完全に匿名性を維持したまま収入を得られる

ほったらかしでも収入が落ちない

サイトを作れば作るほど、雪ダルマ式に収入が増えていく

信じられます？こんなアフィリエイトプログラム、極めたくないですか？

アドセンスに本気で取り組むことによって、あなたのアフィリエイト観は大きく変わるでしょう。

私がそうでしたから。

このレポートは、全てのアフィリエイターを救う究極のクリック報酬プログラム、アドセンスのノウハウを徹底的に追求したものです。

それでは、はじめていきましょう。

## 1. アドセンスとは？アドセンスがなぜ稼げるか？ 従来のアフィリエイトとの違い

アドセンスは、検索エンジン業界2位のシェアを持つ「グーグル」が運営しているアフィリエイトプログラムです。先にアドセンスの特長をいくつか指摘しておきますと、

- ① 広告はソースを貼り付けておくことでグーグル側が最適なものを**自動表示**させる
- ② 表示される広告はアクセスするごとに毎回変わる
- ③ ホームページに貼り付けたアドセンス広告が**クリックされると、報酬が発生**
- ④ クリック報酬額が一定ではなく、高いものでは1クリック当たり数百円になるものもある

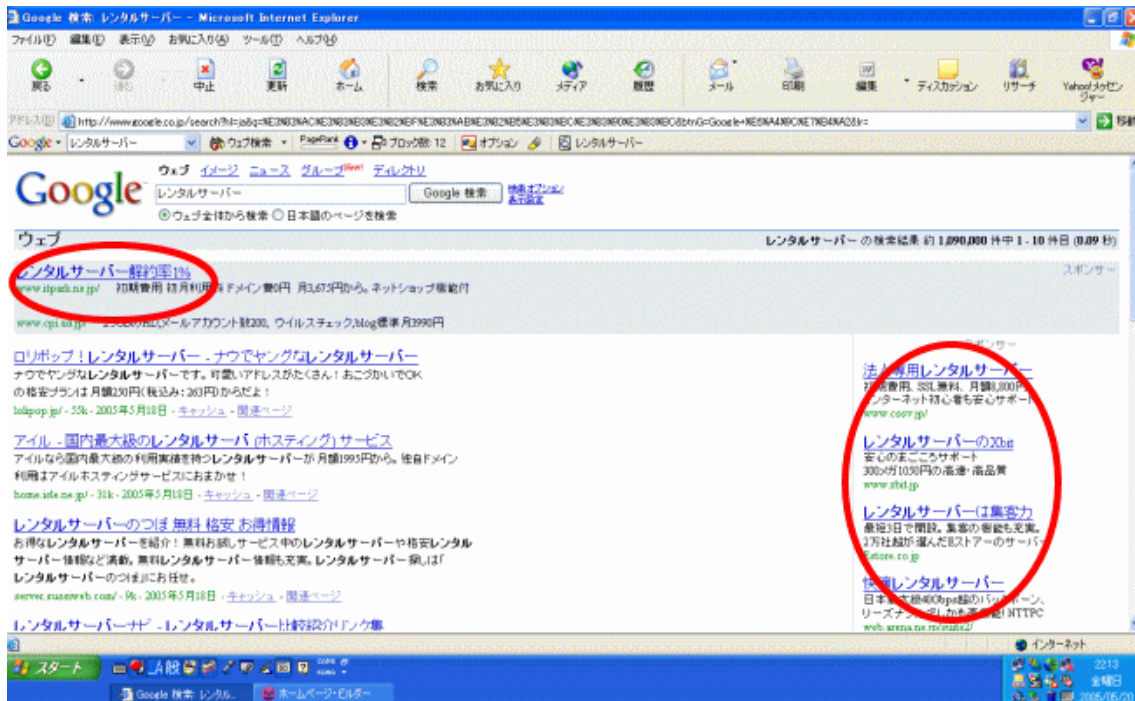
つまり、クリック報酬のくせに報酬額が高額である・・・これがアドセンスの特長です。

アドセンスがなぜ高額報酬なのかというと、次のような仕組みになっているからです。まずグーグルのホームページから、検索エンジンを使ってみましょう。

<http://www.google.co.jp/>

適当にキーワードを打ち込んで検索をしてみてください。

例えば「レンタルサーバー」というキーワードを打ち込むと、このような画面が出てきます。そうすると、画面の右端の方に、アドワーズ広告というのが出ていますね。



赤丸の部分がアドワーズ広告です。これは、レンタルサーバーを売りたい企業が、グーグルにお金を出して表示させている広告です。

広告料金は 1 クリックあたりいくら、というクリック課金の入札制になっていて、入札額の高い広告がより上位に表示されるようになっています。

このアドワーズ広告は、通常グーグルの検索結果画面に表示されるようになっています。これを個人のサイト内で表示させて、クリックされた場合に広告主から支払われる広告料の一部をグーグルがサイト所有者に支払う、というのがアドセンスです。

このようにアドセンスはアドワーズ広告の入札状況、入札額を基礎に運営されているものですから、アクセスするたびに表示される広告が変わります。ローテーション広告というやつです。

ただし、他のアフィリエイトのローテーション広告と違ってサイト内容に関係のない広告が表示されることはありません。Google のキーワード技術により、そのサイトで多用されているキーワードにマッチする広告が自動表示されるようになっています。

また、広告主の入札額は刻一刻と変化しますから、1クリックあたりの報酬が変動したりします。

次に、アドセンスの導入の仕方ですが、まずこちらのページに行ってアカウントを作成します。

<https://www.google.com/adsense/?hl=ja>

アカウント作成にはホームページが必要です。適当に10～20ページのホームページを何か作って、アカウントの開設申請をしてください。

指示にしたがって進めていくと、税務情報を入力する画面があります。通常日本にお住まいの方でしたら関係ありません。合衆国内に企業をお持ちなど、関連があるかも・・・という方は、税理士に相談してください。

さて、無事アカウントが開設されたら、次にアドセンスコードをサイトに埋め込んでみます。

アドセンスの管理画面から広告を作成し、ソースコードを生成してサイトの好きどころに埋め込んでいきましょう。

では、アドセンスコードの埋め込み方を説明します。

まず、アドセンスの画面に行きます。



ウェブサイトへ導入するコードを作成する場合、以下のフォームを使用ください。Google のプログラム ポリシーに従っているウェブ ページまたはサイトであれば、このコードを表示していただけます。色、広告のレイアウト、代替広告の URL、レポートのチャンネルを設定いただけます。

お客様の広告およびウェブ ページの収益を高める方法については、[AdSense ご利用のヒント](#) をお読みください。

### 広告タイプ

お客様のページに表示する広告ユニット タイプを選択します。

- 広告ユニット  (デフォルト: テキストとイメージ広告 [変更](#))
- リンクユニット

[イメージ広告の詳細はこちら](#)  
[リンクユニットの詳細はこちら](#)

### 広告のレイアウト

お客様のページで表示したい広告フォーマットを選択します。 [サンプルを表示](#)



### カラー パレット オプション

広告タイプは、②のすぐ上にサンプルを表示させるリンクがありますので、ホームページのデザイン、表の大きさなどに合わせて最も適切なタイプを選んでください。

次に、広告のデザインを選びます。

### カラーパレット オプション

広告の表示に使用するカラーパレットを選択します。ウェブページの広告に複数のパレットをローテーションで使用する場合は、Controlキーまたは Command キーを押しながらパレットを選択します。 [詳細](#)



### カラーパレットの管理

### 代替広告の URL または色 オプション

公共サービス広告の代わりに、代替広告の URL を入力するか、カラーコードを選択してください。 [詳細](#)

代替 URL   URL を更新

カラーコード   カラーコードを更新

[色を選択](#)

### チャンネル オプション

このページ群のチャンネルを選択します。 [詳細](#)

チャンネルの選択なし ▾

最低限、この3つを設定すれば、広告はOKです。

さて、これをホームページに貼り付けてみましょう。まずは、アドセンススクリプトをコピーします。



#### フレーム構成のページ オプション

ページでフレームを使用している場合は、このオプションを選択します。 [詳細...](#)

広告はフレームのページに配置されます。

#### お客様の AdSense コード

### アドセンススクリプト

全てのコードを選択するためには、このボックス内の一部分をクリックしてください。

Google の [プログラムポリシー](#) に従っているウェブ ページまたはサイトであれば、このコードを表示していただけます。 AdSense コードの設定についての詳細は、 [クイックスタートガイド](#) をご覧ください。

```
<script type="text/javascript"><!--
google_ad_client = [REDACTED]
google_ad_width = 728;
google_ad_height = 90;
google_ad_format = "728x90_as";
google_ad_type = "text_image";
google_ad_channel = "";
//--></script>
<script type="text/javascript"
  src="http://pagead2.googlesyndication.com/pagead/show_ads.js">
</script>
```

[お問い合わせ](#) · [プライバシーポリシー](#) · [利用規約](#) · [プログラムポリシー](#)

© 2005 Google

ここをコピーして、ホームページに貼り付けます。あとはホームページをサーバーにアップすれば、広告が表示されます。

最初、英語の広告が出るかもしれませんが、これはあなたのサイトがまだアップしたてであって「どういうサイトなのか？」を Google 側が認識できていないからです。

この表示の不具合はSEOをかけていくことによって自然と修正されていきますので、今のうちはあまり気にせず次のステップに進みましょう。

ただし、英語の広告といっても公共広告が出ている場合は要注意です。

公共広告が出ている場合、①あなたのサイトに最適なアドワーズ広告がない ②NGワードが存在する のどちらかが原因です。

最適なアドワーズ広告がないというのは、キーワードマッチがうまくいっていないことに起因します。ここはSEOのノウハウを吸収していくことによって、やはり自然と修正されます。

キーワードマッチがうまくいっているのに公共広告が出るという場合、そもそもそのキーワードに入札がされていない可能性もあります。この場合は根本的にサイトのテーマ戦略がずれているといわざるを得ません。テーマ選定を失敗しないように注意してください。

次にNGワードですが、これはアダルトワードや反社会的な表現のことです(死体、殺人など)。

NGワードについては公表されていませんが、ダークな言葉は避けるようにしてください。一般のサイトではまず大丈夫です(ニュースサイトなどではこういった表現が出てくるのはやむを得ないですが、なるべく避けましょう)。

さて、ここまでが基本です。最初は難しく感じるかもしれませんが、たんなる設定の話ですから、いろいろと試してみてください。大事なことは、読むだけではなく実際に「やってみる」ことです。

では、このアドセンスの効率を最大限まで高めるノウハウを伝授しましょう。

## 2. アドセンス・ストラテジー

まず、アドセンスの基本的な考え方から入ります。あなたがこれから、生涯忘れてはならない絶対公式があります。それは

**アドセンスの報酬＝アクセス数×クリック率×クリック単価**

です。いつ、いかなるときも、この公式を意識してください。ほんとうに重要です！

アドセンス報酬というのは、アクセス数、クリック率、クリック単価、この3要素のどれかを伸ばす（もちろん、理想は全部伸ばす）ことで上がっていくことになります。

さて、アクセスを稼ぐ、そして高単価広告を出現させる、この2つはSEOさえしっかりやれば身に付きます。ここは、石田塾のテキストに任せます。

ということで、ここでは「いかにしてクリック率を上げていくのか」を追求していくことにしましょう。

### 3. クリック率アップ戦術その1 -緊急性-

通常、アフィリエイトでは「いかに商品を売るか」を考えてサイトを作りますね。ただクリックされるだけではいけない。売れなければどうしようもないのです。

ですから、通常のアフィリエイトでは、サイトの信用ですとか、文章構成能力ですとか、詳しい情報ですとか、そういったものが必要になってきます。

しかし、ことアドセンスに限っては、そのような技術は一切不要です。なぜなら、**アドセンスは「クリックされることが全て」**だからです。

あとのことはどうでもいいのです。とにかく、クリックさせる。これが最重要課題。

アドセンスには通常、成果の非承認ということはありません。クリックされた瞬間に、報酬がほぼ確実に発生します。

したがって、あなたは、「いかにしてクリックさせるか」ということに全力を注ぐ必要があり、逆に言えば、それ以外の余計なことには一切囚われなくてもよいのです。

さて、よろしいでしょうか?アドセンスで稼ぐための第一法則。

**とにかく、クリックさせる。**

ここに全身全霊を注ぎましょう。

では、**クリックさせる＝クリック率を高める** にはどうしたらいいのでしょうか?

**実は、アドセンスのクリック率というのは、あなたがサイトのテーマを選んだ時点で、既に決まっているのです。**

例えば・・・です。ここに二つのサイトがあるとしましょう。

ひとつは、あなたが大好きなサイト。毎日更新が楽しみで、ついつい訪問してしまう。そんなサイトです。**あなたの目的は、そのサイトの記事を読むことです。**

さて、ある日、あなたが訪問すると、そのサイトに広告が貼り付けてありました。

あなたは、その広告をクリックしますか？

しませんよね？

だって、あなたの目的は「**記事を読むこと**」だからです。

**記事を読みに来る人は、広告なんてクリックしません。**

この当たり前の事実にも、なぜか気づかない人が多すぎます。

ちょっと言い過ぎになるかもしれませんが、いい記事をかけば書くほど、読ませれば読ませるほど、クリック率は低くなる傾向があります。

少なくとも、私が過去に実験したときはそうでした。

まず、「いいコンテンツを書くことがクリック率を上げることだ、サイトの訪問者に喜ばれるサイトが稼げるサイトだ」、という幻想を捨て去ってください。

では次に、もうひとつのサイト。

あなたが急ぎの用で、7人乗りのレンタカーが必要だとします。

あなたは、急いでいます。切羽詰っています。時間がない人です。「明日には車が必要なんだ！」

…ということで、検索エンジンで、「7人乗りレンタカー」と検索します。

検索結果が出てきました。タイトルは「大型車のレンタカーまとめサイト」。いかにもありそうです。そして、訪れたサイトに、「大型レンタカーすぐ予約」という広告があったら…

クリックしませんか？

あなたは急いでいる人ですからコンテンツなんて読んでいるヒマはありません。**とにかく目的のものをいち早く探す必要がある**のです。

たまたま検索結果の一番上に来ていたサイトに入って、このような広告を見つけたら、かなりの確率でクリックするでしょう。

人間は想像以上に面倒くさがりなものです。「戻る」ボタンを押してもう一度検索結果を洗いなおすのが面倒で、目の前の広告に飛びつくのです。

ここでのキーワードは、「**緊急性**」です。緊急性の高いサイトのクリック率は、ちょっと普通では考えられないくらいに高くなります。

ちなみに私が実践している中で代表的なものは、消費者金融系です。消費者金融を調べようなんていう検索者は、相当切羽詰まった人たちですので、おもしろいくらいクリックしてくれます。ちなみにこのサイト、コンテンツなんかゼロに等しいです。

それから、引越し関係なんかも、この手の作りにしています。

さて、上記2つの例から、**記事のクオリティとクリック率は関係がないこと**がおわかりいただけたと思います。

記事よりも、むしろ、どのような検索者を呼び込むか・・・？です。

検索者の属性が「緊急」需要がありそうなキーワードで上位表示をかける必要がありますから、サイトテーマをそれに合わせて決めるのです。

最初のテーマ・キーワード選定をしっかり練りこむことによって、コンテンツなどなくても成果は上がるようになるのです。

ちなみに、私の所有サイトのクリック率は、平均4%。

最もクリック率の高いサイトでは、10%を超えます。

#### 4. クリック率アップ戦術その2 -迷彩-

迷彩、それは・・・**極力、広告に見えないようにすること**です。

広告は、広告だと知られるとどうしても読みとばされます。

もうご存知かもしれませんが、こんな話があります。

あるマーケッターが、新聞に縦書きの広告と横書きの広告を出しました。

コピーや文章は全て同じ内容です。違いは、縦書きか横書きか、それだけです。

どちらの反応が良かったか？

結果は、縦書き広告が横書き広告の数倍の成果を上げたそうです。

新聞は、縦書きですよ？縦書き広告というのは、広告ではなく記事に見えるので反応がよくなったのです。

ということで、アドセンスを貼り付ける際には、**広告に見えないような工夫**が必要です。

これは、通常のアフィリエイトでも同じですね。迷彩は、アフィリエイトコードが見えないようにURL変換をしたり、サイトに `javascript` を埋め込むのと同じことです。

では具体的に迷彩の方法について。当たり前のことですが、念のため記述しておきます。

① アドセンスの色を、サイトの色に合わせる

② アドセンスのリンクの色を、サイトのリンクの色に合わせる



紛らわしくしましょう。アドセンスが、あなたのサイトのコンテンツリンクであるかのように見せるのです。デザインを工夫してください。

ただし、注意点をひとつ。

迷彩をかけるのはいいですが、例えば「下記のリンクは当サイトのコンテンツです」とか、「goooooogle」という文字を外したりですとか、あまりやりすぎるとクビになります（Google からアカウントを剥奪される）。

ライバルサイトを観察して、どこまでなら許されるのかしっかり見極めて迷彩をかけてください

## 5. クリック率アップ戦術その3 -位置-

広告を広告に見えないようにする工夫は、迷彩だけではなくもうひとつあります。

それが広告の位置。

私もいろいろ実験をしてみました、次のようなタイプが最もクリック率が高くなります。

### ① 緊急性を考慮したサイトの場合

見出し部分	アドリンク
サイト説明文	コンテンツ リンク
アドセンス	
コンテンツ	縦長 アドセンス

②緊急性の要素を無視したサイトの場合

見出し部分	アドリンク
サイト説明文	コンテンツ リンク
コンテンツ	縦長 アドセンス
アドセンス	

発想は結局同じで、いかにして自サイトにリンクに溶け込むように配置するか、です。

## 6. アドセンスの注意点

最後に、あなたがアドセンスを運用していく上で、注意しなければならない点がふたつあります。

① 不正クリックによるアカウント削除措置に注意する

② アドセンス狩りによるアカウント削除措置に注意する

どういふことが説明しましょう。

まず、アドセンスのアカウントは、Google が停止したいと思ったら、理由の如何を問わず無条件で停止できるようになっています。当然、未払い報酬も支払われません。

つまり、仮にあなたに何の非もなかったとしても、Google 側があなたのことを「Google ポリシーに反する行為をしている」と認定してしまえば、突如何の予告もなくアカウントを停止させられてしまうのです。

一切の抗議は通用しません。Google に目をつけられると、未払い報酬も全てクリアされ、問答無用で「クビ」になってしまうのです。

裁判に持ち込めば勝てる可能性はゼロではありませんが、裁判を起こすに際しての費用対効果を考えると、とてもペイできないでしょう。

ですから、予防措置が必要になってきます。

まずは、Google のアドセンス利用規約をしっかりと読み込んでください。

<https://www.google.com/adsense/policies>

こういった細かい規約などをしっかり読んでいない方がいますが、問題外です。自衛するためには、まずどういった行為が禁止されているのかを知りましょう。

また、「アドセンス」というキーワードで Google 検索をかけてみると、アカウント停止の憂き目にあった先人たちが、アカウント停止までの体験談をしてくれるサイトが見つかります。

やはり、多いのは不正クリック絡みです。

不正クリックのうち、自己クリックは、注意すれば防げます。

また、他者による連続クリックは、①友人などに、アドセンスを貼っているサイトのURLを教えない  
②アドセンスで稼いでいることを公表しない といったことで回避します。

アドセンスを不自然に連続クリックする人は、たいてい友人などが何も知らずに面白がってポチポチ押すか、アドセンス狩りを趣味にしている連中くらいです。

もし、アドセンス狩りに狙われている気配を感じたら、すぐに Google に対してメールを出しましょう。また、Google にメールを出すと、「サーバーログを提出しなさい」と言われることがあるようです。ログは提出できる体制を敷いておきましょう(ちなみに、ログを残しておくともIPアドレスが特定できませんので、アドセンス狩りをしかけてきた者に対し損害賠償請求をすることができます)。

万一アカウント停止をされしまった場合、アカウント再開をかけあうこともできるようです。ただ、成功率は限りなくゼロに近いようです(この辺は推測ですが)。

また、アカウント停止に対しては、家族、親戚などに頼んで名前を貸してもらい、アカウントを複数所有することによってリスクヘッジをかけるという手もあります。

アカウント削除をされてしまうのは事故にでも遭ったと思って諦めて、損害を少しでも小さくしていこうという発想です。

しかし、このような名義貸行為そのものが成りすましのようなものなのでポリシー違反になります。のやめたほうがいいでしょう。

結局アカウント停止処分に対しては、目立たずに、ひっそりと人知れず運営していくことが最良の自衛手段です。

## 7. アクセスを集める

さて、最後にアクセスを集めるテクニックをひとつだけ伝授します。

ただし、ここではSEOの具体的な方法を教えることはしません。それは、石田塾のテキストの中で学んでいきましょう(また、高単価の広告を出現させる方法も、石田塾のテキスト内で扱っていきま

SEOができるという前提で、それをいかに「応用」するかをここでは指南していきたいと思います。

結論からいきましょう。アクセスを集めるための最良の方法は、「**数の論理**」です。

ネットビジネスの世界では、なぜか「楽しんで儲かる」とか「楽しんで稼げる」といったイメージがあったり、あわよくば一攫千金という考え方の人が多いように思います。

しかし、残念ながらたった数ページのホームページで数百万稼ぐなど、夢物語もいいところです。

情報起業家のホームページなどは数ページで、月間数百万稼いで入るサイトもありますが、そういったサイトは多額の宣伝広告費を投入していたり(広告はトライアンドエラーで反応を計測していく世界ですので、時間、労力、費用がかかる)、メールマガジンの読者を増やすのに惜しみなく費用、時間をかけています。

一見ラクをしているように見えても、舞台の裏方では多くの犠牲を払っているのです。

それ相応の行動をしっかりと起こさなければ、キャッシュは手に入りません。最初のうちは労力を惜しんではいけないのです。

アフィリエイトの場合は特にそうです。「たった1ページで月●万円稼ごう」と思ってはいけません。

これは、やろうと思えば可能ですよ。実際に、そういう人もいます。

でもこのような一発逆転的な方法は、リスクもまた大きいことを忘れてはなりません。

**SEOは、検索エンジンアルゴリズムとの戦いです。**

アルゴリズムとは、検索結果の計算式のことです。

Googleをはじめとする機械検索のサーチエンジンは、日々チューニングを繰り返してどんどん進化していています。

仮に、少し前にあった Yahoo!のっ大変革のような事態が起こると、**ひとつのページからの収入に依存することは相当危険**であると言えます。

また、当然ですが、1ページから多額の収入を得ている人でも、やはり裏では相当の努力はしているのです。

ですから、発想を変えましょう。どの道同じ努力をしなければならぬのですから、ひとつのページ、ひとつのサイトだけを作成するのではなく、複数展開していくのです。たとえば、

**「1ページで月500円稼ぐ」**

これでいいのです。

1ページ、1日アドセンス1クリック。これで、この数字は達成できます。ライバルの少ない、SEOがしやすいテーマを選びましょう。

**そのようなページを 1000 ページ作れば50万です。**

これなら簡単ですね。月に1万稼ぐページを作るのは結構タイヘンですが、1日アドセンス1クリックくらいならできそうです。

このように、**小さくても確実に稼ぐ、それをコツコツと積み重ねていく**。これがアフィリエイトの王道です。成功できていない人の共通点は、この「コツコツ」ができていないのです。

これは私のメールマガジンの中でも再三に渡って言っていることですが、なかなか実行に移せている人はいません。

とにかく **数 数 数** です。数をこなしてください。

ただ、いくら数をこなすといっても、全く検索されていないキーワードでホームページを作っても仕方ありません。

そこで、事前に調査をします。ここに行きましょう。

#### ▼ キーワードアドバイスツールプラス

<http://www.muryoutouroku.com/free/free06.html>

これは、従来のキーワードアドバイスツールに改良を加えたものです。ヤフーと Google のライバルサイト数が一瞬にしてわかるという優れものです。

ここに、かたっぱしからキーワードを入れていきます。**思いついたものは全て入力**してやります。

多少お金をかけてもいいという方は、アドワードサーチを使うといいでしょう。2万円しません。

#### ▼ アドワードサーチ

<http://www.adword-search.com/>

とにかく早いです。100 件同時に、検索回数、Google インデックス数、アドワーズ出稿数からオーバチュア出稿数まではじき出してくれる優れモノです。



さて、ここに出てきたキーワード…

**かたっぱしから、キーワードマッチをかけてページを作成していきましょう。**

またかたっぱしからです。ここに出てくるキーワードというのは検索回数の多いキーワードですから、徹底的に全ページを作ってしまうてください。

この作戦はけっこう時間はかかりますが、単純ゆえに誰にでもできてしまいます。

もちろん、キーワードは「**緊急性**」を孕んでいそうなキーワードを選んでください。

さて、アドセンスの最適化についてはこれでおしまいです。

あとは、塾のテキストどおりに事を運んでいけば、確実に収入につながっていきます。

テキストが配布されるとすぐにわかることですが、SEOなんて難しいものではありません。

HTMLがちょっとわかりさえすれば、誰にでもできることなのです。

では、なぜSEOのノウハウを手にしても、成功できない人がいるのか？

それは、やらないからです。

例えば、「キャッシング」などのおいしいキーワードでトップをとろうという場合。

確かに、トップを取れば月数百万が転がり込んでくることになります。

しかし、キャッシングサイトをトップに持ってくるためには、1000 ページのホームページを作成するに等しい労力を必要とします。

同じく、1000 ページのホームページを作る、MTを使いこなせるようになる、メールマガジンを発行する、どれもこれも、実際にやってみるとかなりの労力が必要です。

しかし、**やったときの効果は、確実に見えています**。アフィリエイトにしても、情報販売にしても。

実行さえすれば必ず結果はついてきますから、ぜひ、しっかりと行動に移してください。